

市政参画の推進 ー投票環境整備の観点から

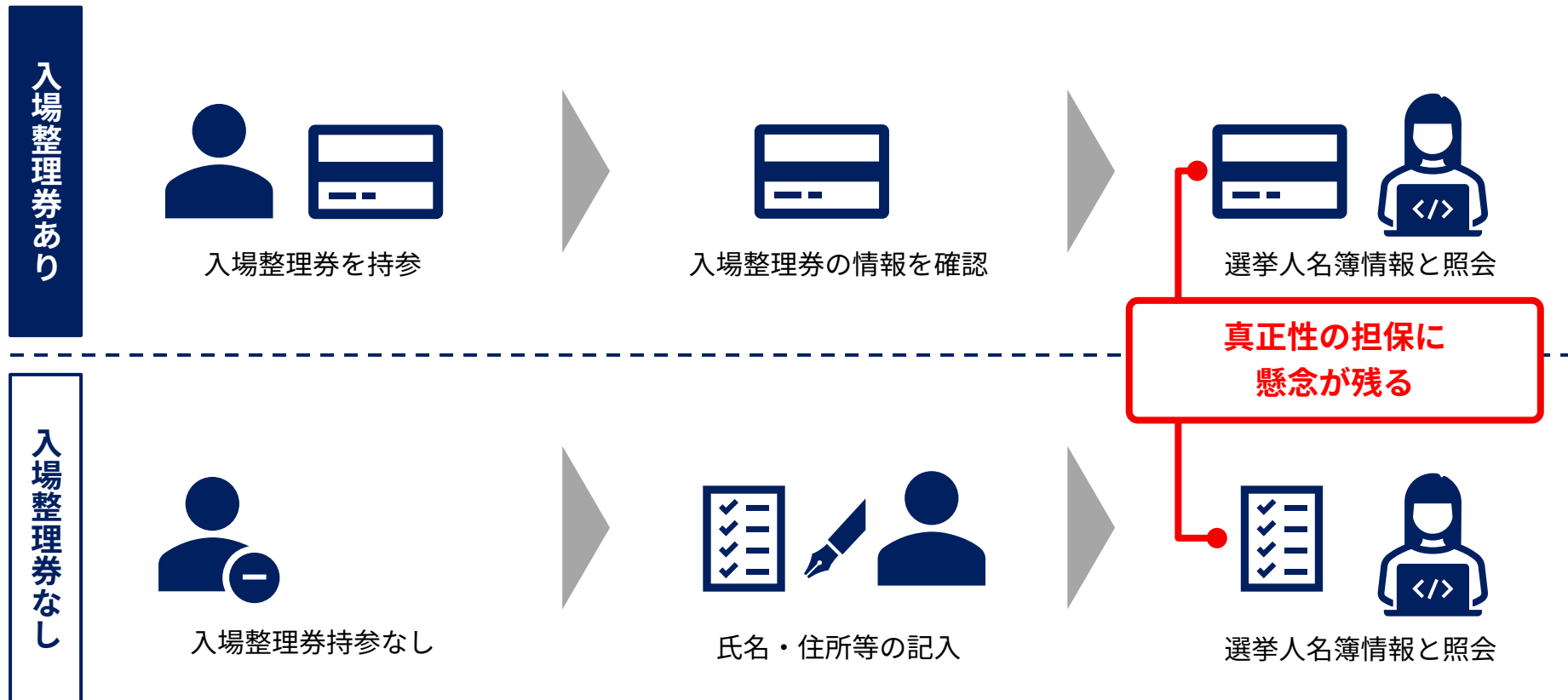
とよなかを共に創る会
坂口 雄太

1. 投票時の本人確認の課題
2. マイナンバーカードの活用イメージ
3. 共通投票所

1. 投票時の本人確認の課題

- 選挙の際、投票所では、入場整理券の持参もしくは氏名・住所・生年月日といった基本情報の記入によって本人確認を行っている。
- しかしながら、厳格な本人確認を行っているわけではないため、**なりすまし、詐偽投票が行われる懸念**はあり、実際に全国各地で検挙例がある。

投票時の本人確認の運用と問題点



2. マイナンバーカードの活用イメージ

- 一部の自治体ではマイナンバーカードを活用した投票受付事務を行っている。
- 投票機会のさらなる確保のほか、**本人確認の信頼性の向上**にもつながると考えられる。

マイナンバーカードを活用した投票受付事務



マイナンバーカードを持参



カードの情報を読み取り

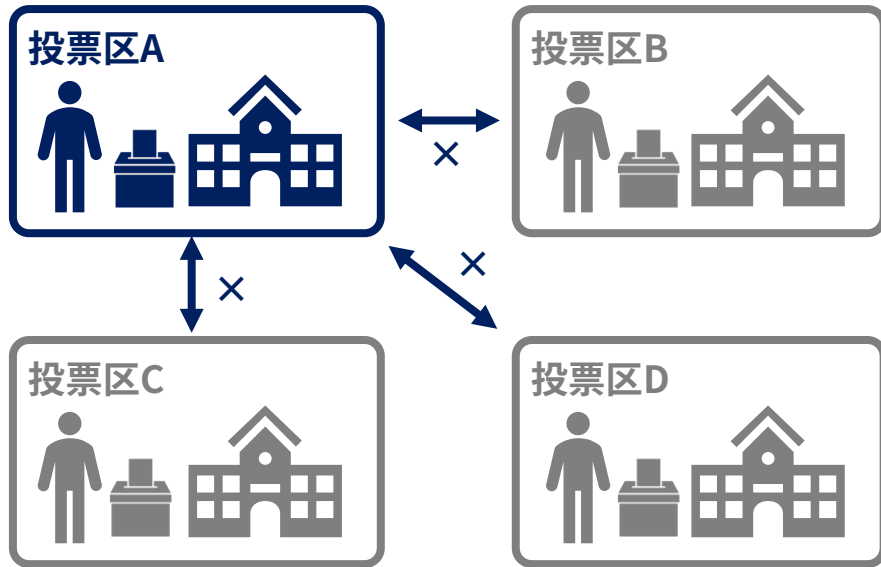


選挙人名簿情報と自動突合

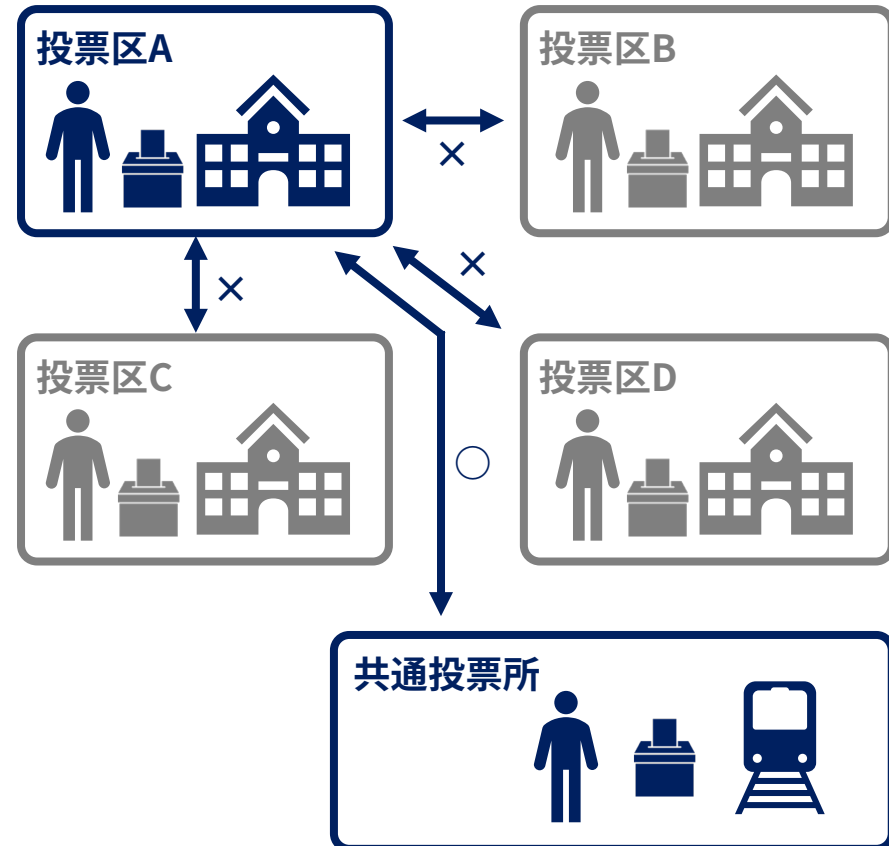
3. 共通投票所

- 期日前投票所では居住地に関わらず投票が可能な一方で、投開票日当日は割り当てられた投票区のみでの投票が可能となっている。
- 期日前投票所の運用を投開票日当日まで延長し、共通投票所として運用することで**投票機会の増加、利便性の向上を実現**することができる。

As-Is (現状)



To-Be (共通投票所導入後)



蛍池駅及びその周辺地域の まちづくりについて

とよなかを共に創る会
坂口 雄太

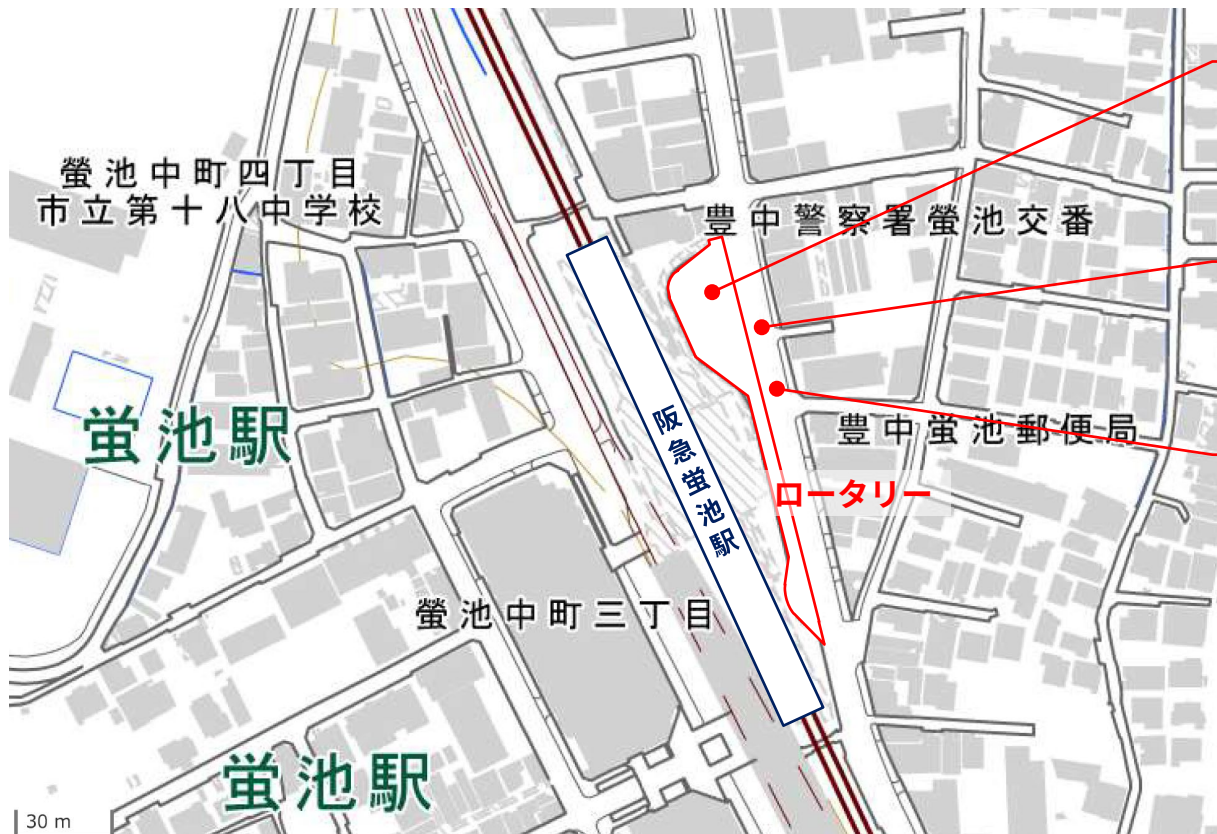
1. 蛍池駅東口の現状と問題点（R5.12資料再掲）
2. 北西部の新しい地域公共交通の運行概略

1. 蛍池駅東口の現状と問題点（R5.12資料再掲）

- 蛍池駅東口には、阪急電鉄が所有するロータリーがあり、バスやタクシーが発着している。
- ロータリー設置から長い時間が経過し、社会情勢や地域の人の流れが変化したことによって、ロータリー周辺で**交通動線に関する問題が生じている**認識である。

蛍池駅周辺（概略図）

生じている問題



① 一般車のロータリーへの進入

ロータリーは一般車進入禁止であるが、通勤・通学時間帯を中心に多数の一般車が滞留し、危険な状態となっている

② 国道176号への影響

ロータリーに一般車が進入する際、右左折のために停止することで国道の流れに影響を与えている

③ 歩行者の横断

駅入り口に近い、信号・横断歩道が設置されていない地点において、歩行者が国道176号線を横断している

④ 駅前空間の低利用化

蛍池駅東口を発着するバス路線が減少し、ロータリーの利用頻度が低下している

2. 北西部の新しい地域公共交通の運行概略

- 北西部においては、デマンドタクシーを念頭に置いた新しい地域公共交通の導入が検討されている。
- 公共交通としてのポテンシャルを発揮するためには、民間の経路検索サービスへのデータ提供を可能とするGTFSへの対応が行われることが望ましい。

① 北部ルート1 柴原阪大前駅～宮山町・春日～少路駅

柴原阪大前駅（豊中市民病院）から柴原・宮山町・桜井谷地域を経由し、少路駅へと向かうルート

② 北部ルート2 柴原阪大前駅～刀根山～蛍池駅

柴原阪大前駅（豊中市民病院）から刀根山・蛍池地域を経由し、蛍池駅へと向かうルート

GTFS…民間の経路検索サービスへの表示を可能とするためのデータフォーマット。
対応するとGoogleMapやYahoo経路検索などでのデマンドタクシーを利用したルート表示が可能となる。

